

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標及び実績値等

課題の 類型1	課題の 類型2	背景・現状・課題 の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具 体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度に おける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達 成する目標 (アウトカム)	目標の達 成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
学校と地 域の課題	学校支援 ボランティアの確 保・育成	・支援ボランティアを 活用した授業づくり 等、人材の確保に課 題がみられる。	・市内すべての小中学校 において、地域学校協働 活動推進員を配置する。 ・推進員は、学校と地域の 連絡調整等を担い、支援 ボランティアの確保に取り 組む。	・各学校からの課題として、地域人材を活 用した授業づくりが挙げられており、学校 のカリキュラムと地域の特性について検 討していく必要がある。そのために年度の はじめに、市内全体の推進員と学校関係 者の意見交換の場を設け、各学校での活 動や成果を共有する。	地域人材を活 用した授業を 展開する。	地域人材を 講師に招い ての授業に 参加するボ ランティア等 の延べ人数	657	人	700	805	本年度の 目標値を 上回り、 課題の解 決に向け て大きな 成果が見 られた。 一部の学校で、積極的に地域学校協働活動が行われた。 今後は地域学校協働活動の連絡会等で、取り組みを市内 全体への共有を図り、活動のさらなる活性化につなげた い。
学校と家 庭の課題	放課後等 における 多様な体 験活動	・放課後児童クラブ との連携を図りなが ら、居場所の確保や 放課後等において 多様な体験や学び の機会の充実を図 ることが課題。	・各小学校区において放課 後子ども教室の開催回数 の増に取り組む。 ・サポーターの確保。	・各小学校区において放課後子ども教室 を引き続き開催。 ・サポーターの確保が課題であったが成 果みられず。 ・多様な体験活動が実施されている。	学校以外での 多様な体験や 学びの機会、 放課後の居場 所を得ることが できる児童が 増える。	放課後子ど も教室の開 催回数	150	その他	160	147	本年度の 目標値を 下回り、 取組の工 夫・改善 が求めら れる。 ・地域の方との交流機会を設けることができ、改めて地域の良さを、地域の方への感謝の気持ちが深まった。 ・サポーター不足により開催が少ない地域に対してのサ ポーターの確保が課題